

【事業者名称】グループホーム愛和 Bユニット

H20年7月23日評価実施

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開所前よりの理念が合致している。またご利用者にも分かりやすい言葉で、ご利用者にかいていただき提示している。		
2	2	<input type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	申し送りの際必ず復唱することで、ケア方針を確認している。『その人らしさ』を大切に、接している。カンファレンスを重ね、より深くご利用者を理解していく。		
3		<input type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切に理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進会議や、地域ケア会議、ご家族との交流会地域に向けての愛和だよりを発行し、地域の掲示板、回覧、市所などに掲示させていただくことで、認知症への理解、グループホームでの様子をお伝えしている。		
理念と共有 3項目中 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や買い物の際、笑顔であいさつするように心掛けている。ご近所や近くのお店の方など、ご利用者の顔を覚えていただき、お声をかけてくださる。		
5	3	<input type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の地蔵盆や夏祭りに参加など地域の行事に参加させていただいている。ボランティアさんによる演奏会やホームの夏祭りなど、地域の方に来ていただけるようポスターを貼ったり、回覧板をまわしていただいたりし、ホームにも来ていただけるよう努めている。		
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	以前に地域の方対象にした『認知症について』の講習会を、近くのグループホームの方と共同で、2回開催させていただいた。また、認知症や介助についての相談も随時受け付けている。		
地域とのつきあい 3項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	4	<input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全員で行うことによって、今まで気づかなかった事や、介護士としての姿勢などを振り返ることができた。		
8	5	<input type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	地域の方と意見交換し、いろいろなことを教えていただいたり、行事にも参加させていただいている。ご利用者の活動域が広がった。		
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域ケア会議や情報提供会に参加し、情報を得ている。またわからない事があれば、電話や市役所に訪問し相談している。		
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について研修済み。他の職員には内部研修で管理者が、制度の概要と必要性は話した。	○	勉強会など開き、知識を高めていきたい。
11		<input type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修で学んできた職員を講師とし、内部研修を開き、みんなで話し合った。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 項目					
		I-4. 理念を実践するための体制			
12		<input type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書類を一緒に読みながら、口頭で説明を行い、質問がないかを確認しながら理解、納得をしていただいている。		
13		<input type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	いつでも気軽に話せる雰囲気作りに努め、話をじっくりお聞きするようにしている。		
14	7	<input type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご利用者の状態は、愛和通信やたよりで毎月報告。金銭に関しては、領収書と出納簿をコピーして毎月報告している。また近況報告と、6月より受診・通院報告も書面で報告している。職員の移動も愛和通信やご家族との会合などで報告している。それとは別に状態変化があれば、適時報告させていただいている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に『意見箱』を設置している。行事や面会時に個別に意見を聞かせていただき、対応させていただいている。		
16		<input type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に1回社長、ホーム長と面接を実施している。意見や希望、目標などを聞いている。またミーティングや申し送りの際、職員に意見を求め、実施している。		
17		<input type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ご家族のご希望に添って通院介助や、ご利用者の状態にあわせ、勤務時間の延長、出勤日の変更を行っている。		
18	9	<input type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間の職員の移動は原則1名ずつとし、すこしずつ慣れていただいている。しかし3月、4月に離職者があり、移動や新入職員を迎えたが、特に大きな混乱はなかった。	○	ご利用者の混乱を招かぬよう、移動は最小限に止めていきたい。
理念を実践するための体制 7項目中 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修、外部研修に参加。また、申し送りや現場で気付いたことは、そのつど指導している。病気や急変時の対応など、必要に応じて資料を提供すると共に、勉強会を開き指導している。		
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ホーム長が淡海グループホーム協議会に参加し、職員に必要な情報提供を行っている。また職員同士の交流会に参加した職員からは「とても勉強になった」とのこと。レポートと提出し、回覧。 近くのグループホームとご利用者の行事など招待し合っている。	○	今後も交流会への参加をうながしていきたい。 また他のグループホームに出向いたり、お迎えしたりと積極的にしていきたい。
21		<input type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	歓送迎会や忘年会、職員の慰労会を行っている。	○	慰労会を定期的に行い、職員のストレス発散や、一層コミュニケーションがはかれる様努めたい。
22		<input type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の個性を尊重し、良いところを認め、お互い支えあいながらご利用者の援助させていただいている。		
人材の育成と支援 4項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	〇印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接訪問、見学来所時にご本人、またご家族を通じて、困っていること、ご希望など聞き出せるよう努めている。		
24		<input type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接訪問、見学来所時にご本人、またご家族を通じて、困っていること、ご希望など聞き出せるよう努めている。		
25		<input type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話の中で、できること、できないこと、好き嫌いなど聞き取りながら、必要なサービスを提供できるよう努めている。		
26	12	<input type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご利用前、必ず来所していただき、その場の雰囲気を感じていただき、ご本人にも納得していただいた上で利用していただいている。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	お得意な裁縫や掃除、梅干し作りや、味噌作りなど教えていただいている。また昔の生活の様子、苦労話など、数々の体験段にいつも驚かされている。		
28		<input type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事にご参加いただき、お手伝いもしていただいている。		
29		<input type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	認知症のセンター方式での記録や聞き取りにて、ご家族の思いをお聞きしている。月に1回ご利用者の近況報告と通院・往診の結果を書面で郵送。また面会時、急変など必要時には随時報告させていただいている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	ご親戚や、ご友人の方の面接も、ご家族に確 認しながら受け入れている。		
31		<input type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	気の合う仲間関係も大切にしつつ、コミュニ ケーションをとるのが苦手な方など、他の方も 交えて活動できるよう、職員が間に入り援助さ せていただいている。		
32		<input type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用 者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	行事や運営推進会議など声かけし、ご参加い ただいている。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々接していく中で、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、反応などを見て、本人本位になっているか検討させていただいている。		
34		<input type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に担当のケアマネジャーさん、ご利用者やご家族から話をお聞きしている。		
35		<input type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護記録に一日の過ごし方、ケアプランが実践されているかを記入している。言われた言葉をありのままに記録し、心身の状態を把握するように努力している。		
一人ひとりの把握 3項目中 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスや主治医、訪問看護師さんの意見をお聞きしながら介護計画書を作成している。		
37	16	<input type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	問題が生じた時点で申し送り、カンファレンスで課題を明らかにし、検討している。介護方法の変更時には、ご家族にも了解をいただいている。		
38		<input type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	非日常のことは特記事項に挙げると共に、申し送り帳にも記入の上、口頭でも申し送り、情報を共有に努めている。	○	情報の共有の徹底をしていきたい。
介護計画の作成と見直し 3項目中 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者が新聞のチラシを見て、「ピザが食べたい」と言われ、みんなでピザを作って食べるなど、日常の会話からおやつ作りや食事のメニューに取り入れている。通院の合間にご家族の希望でお墓参りにいたり、ご利用者の希望でご自宅によるなど、できるだけ希望に副えるよう努めている。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の方、民生委員さんなどの協力を得て、ボランティアで習字や生け花、工作、演芸などをして楽しんでいただいている。		
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	以前にご希望があり、訪問マッサージに来ていただいたことがある。		
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議での話し合い、助言は頂いているが、ケアマネジメントでは相談していない。権利擁護に該当される方も今のところおられない。		
43	18	<input type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者、ご家族の希望される病院の先生になっていただいている。受診時には職員が付き添い、生活の様子を報告し、相談させていただいている。		
44		<input type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要な方はご家族と相談し、受診に結び付けている。通院は職員が付き添い、生活の様子、変化を報告し、相談させていただいている。		
45		<input type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護ステーションと医療連携をし、訪問看護師の訪問時や電話で相談させていただいている。		
46		<input type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された時は面会に行って、ご本人が安心できるように心がけている。その際、医療関係者から情報を得ている。		
47	19	<input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族はターミナルについて、どう考えておられるのかアンケートを取り、意向を把握している。内部研修でターミナルケアについても話合っている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	内部研修でターミナルケアについて話し合い、いつでも対応できるよう努めている。		
49		<input type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報提供し、ご利用者について事前に知っていただいている。		
地域資源との協働 10項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいない項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1.(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	ご利用者一人一人の人格を尊重し、その方にあつた対応に努めている。	○	排泄時の声かけには、他の方に気付かれないよう、充分注意していきたい。
51		<input type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご利用者の思い、希望に添って生活できるよう、話をさせていただいている。意思決定が困難な方にも、反応を待ち、気持ちを汲み取るよう努めている。		
52	21	<input type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、就寝、食事、入浴など、希望に添った援助をさせていただいている。意思確認が困難な方にも、選択肢をわかりやすい言葉で声かけすると、意思表示してくださることもある。ご利用者のペースを尊重し、職員主導にならないよう心がけている。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 項目					
IV-1.(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	なるべくご自分で身支度ができるよう、声かけなどで支援する。化粧品を買いに行ったり、お出かけ時にはお化粧を促し、必要な方には援助させていただいている。散髪はご希望に添って、理容、美容院に出かけることもある。		
54	22	<input type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは職員が考えているが、週に2回ほどご利用者に決めていただく日を作り、みんなで考えていただいている。食材切りや、皮むき、盛り付けなど、ご利用者のできる事を職員と一緒に手伝っていただいている。また日常の会話の中からメニューに取り入れることもある。		
55		<input type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一緒に買い物に行き、購入していただいている。		
56		<input type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表に記入し、状況にあわせ個別ケアしている。		
57	23	<input type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	最低週2回入浴していただいている。ご本人の希望や状態にあわせて日数に関係なく入浴していただいている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	記録、申し送りなどで睡眠状態、パターンを把握。散歩に行ったり、家事を手伝っていただくなどして、1日のリズムを作り、自然な安眠が得られるよう努めている。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	テーブル拭きや居室の掃除、洗濯たたみ、植物の世話など職員と共に、またご利用者が主となっていただいている。		
60		<input type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いを持っていただき、職員と買い物に行っている。		
61	25	<input type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	食材や、おやつを買出しをお手伝いしている。またご希望に応じ、お買い物に行っているが、毎日ではない。	○	ご利用者一人ひとりが行きたいところへお連れしたい。
62		<input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お墓参りや親戚の家などご家族と出かけられる。必要時は職員も同行している。	○	ご利用者一人ひとりが行きたいところへお連れしたい。
63		<input type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるよう支援している	好きなききに電話していただいている。		
64		<input type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間に決まりはなく、いつでもお迎えしている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	2階の階段、エレベーターの出入りにセンサーを付け、2階から1階へのご利用者の移動の把握を行っている。	○	センサーを取り除き、いつ外出していただいても対応できるよう、職員の知識を高めると共に、体制を考えていきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	交通事情からお一人で出て行かれると危険なため、玄関を施錠している。ご利用者さんには開錠の方法を知らせており、開錠の間に職員が駆けつけるようにしている。玄関の開錠を考えているが、防犯の面からも難しい。身体拘束の研修に参加中の職員がおり、テーマとして取り組んでいる。	○	安全に過ごしていただき、玄関の開錠を検討していきたい。
67		<input type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は居室に閉じこもっておられる方には、声かけなどして様子を伺う。夜間は最低2時間に一度の巡回を行い、安否確認している。		
68		<input type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	生活に必要なものはご自分で持っていただくが、一人ひとりの状態に合わせて、危険と判断したものには職員がお預かりしている。		
69		<input type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	内部研修などで知識を高め、カンファレンスで一人ひとりの状態、対応など話合っている。		
70		<input type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	1年に1回消防署に依頼し、救命救急講習を受けている。毎月1回火災、または地震を想定し避難訓練を行っている。		
71	27	<input type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月1回地震、火災の避難訓練を実施。運営推進会議で地域の方にもグループホームの様子をお伝え、助け合えるよう話し合っている。		
72		<input type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	転倒などリスクと現状をご家族に説明し、話し合っている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	急変時主治医に報告し、指示を受けている。ご家族にも連絡し、報告、状況説明している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	診察後、診断結果、処方箋を書面で報告し、各自確認している。また翌日の申し送り時、口頭で報告。ユニットに処方箋を綴じたファイルを置き、いつでも確認できるようにしている。		
75		<input type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	朝食にヨーグルトと野菜を摂取していただいている。水分の摂りにくい方には、ジュースやお茶でゼリーを作るなどして、その方の好まれる、また摂取しやすい方法で水分補給していただいている。便秘の方にはアロエヨーグルトを摂取していただき、排泄を促す。また主治医と相談し、下剤を投与している方もおられる。		
76		<input type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	声かけや介助で、毎食後の歯磨きやうがいをしている。		
77	28	<input type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	内部研修で栄養士より『食事について』学び、職員一人ひとりがカロリーや水分量など気にかけて提供させていただいている。		
78		<input type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎日ドアノブや手すりなどの消毒。主治医や地域の方の情報で流行の兆しがあるものは、勉強会を開き、予防の徹底に努めている。		
79		<input type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器、調理器具は洗った後、乾燥機に入れて熱消毒。ふきんやタオル類もキッチンハイターで殺菌消毒している。台所、冷蔵庫などアルコール消毒している。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関にグループホームの大きな表記があり、ご利用者にとってわかりやすい。季節の草花を植え、一緒に水やりをしたりして成長を楽しんでいる。		
81	29	<input type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	門扉がなく、バリアフリーのため玄関は出入りやすい。所々にご利用者に生けていただいた季節の花を飾っている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング、和室、多目的ホールにソファや椅子をおき、気の合った仲間が集まりお話されている。		
83	30	<input type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	お仏壇やテレビ、使い慣れたものを持参されている。アルバムをみせてくださり、懐かしいお話も聞かせてくださる。		
84		<input type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝、窓を開け換気している。様子を見て、ご利用者の意見をお聞きしながら、窓の開閉、エアコンの使用などで温度調整している。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室など必要なところに、手すりを設置している。		
86		<input type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレや居室に名札をつけている。 ホワイトボードや大きなカレンダーに行事を書き込むことで予定を確認していただいている。		
87		<input type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関や裏庭の花、畑の野菜などを収穫していただいている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

これからも『その人らしさ』を大切に、ご自分でできることはしていただけるよう支援しながら、生き生きと暮らしていただけるよう努めていきます。

評価結果整理表

個別表

□のチェック項目数

I 理念に基づく運営

－1.	<input type="checkbox"/> 理念と共有	0 項目/3項目
－2.	<input type="checkbox"/> 地域との支え合い	0 項目/3項目
－3.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	1 項目/5項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	1 項目/7項目
－5.	<input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	2 項目/4項目

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

－1.	<input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0 項目/4項目
－2.	<input type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	0 項目/6項目

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

－1.	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	0 項目/3項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1 項目/3項目
－3.	<input type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	0 項目/1項目
－4.	<input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	0 項目/10項目

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

IV－1. その人らしい暮らしの支援

－1. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	1 項目/3項目
－1. (2)	<input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	0 項目/6項目
－1. (3)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	2 項目/6項目
－1. (4)	<input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	2 項目/8項目
－1. (5)	<input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	0 項目/7項目

IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

－2. (1)	<input type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	0 項目/5項目
－2. (2)	<input type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	0 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (4項目/5項目)について

外部の研修に参加すると共に、内部研修で皆と話し合う機会を持つ。
定期的に職員の慰労会を行い、職員同士のコミュニケーションを持つ機会を増やす。コミュニケーションを多くとることで、ストレス解消や、離職の軽減につなげていきたい。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (項目/2項目)について

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (1項目/4項目)について

基本である引継ぎ、記録をしっかり行い、情報の共有を徹底していきたい。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (5項目/7項目)について

安全で快適に過ごしていただけるよう、玄関の鍵を解除していくよう取り組んでいく。

V サービスの成果に関する項目について

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 グループホーム愛和 Bユニット

評価年月日: 20年 8月 25日

前回評価年月日: 20年 9月 26日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
10	10	権利擁護に関する制度の理解と活用。	20年8月～21年8月まで	外部の研修に参加すると共に、内部研修でも皆で話し合う機会をもつ。		
18	6	職員の移動等による影響への配慮。	20年8月～21年8月まで	ご利用者の混乱を招かぬよう、移動は最小限に止めていきたい。		
20	9	同業者との交流を通じた向上。	20年8月～21年8月まで	・交流会に積極的に参加。 ・以前していたように、お菓子作りなどを近隣のグループホームの方としていきたい。		
21	5	職員のストレス軽減に向けた取り組み。	20年8月～21年8月まで	慰労会を定期的に行い、職員のコミュニケーションを一層はかっていく。話し合いの場を増やす。		
38	1	個別記録と実践の徹底。	20年8月～20年9月末まで	基本である、引継ぎ、記録の漏れがない様徹底。		
50	2	プライバシーの確保の徹底。	20年8月～20年9月末まで	トイレ誘導時の声かけを周囲に気付かれないうよう注意する。		
61	4	日常的な外出支援。	20年8月～20年11月末まで	食材の買い物や散歩など、利用者さんと外出できる機会を増やす。		
62	8	普段行けない所への援助。	20年8月～21年8月まで	年間行事の外出以外にも、1人ひとりが行きたい所へお連れできるようにしたい。		

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 グループホーム愛和

評価年月日: 20年 8月 25日

前回評価年月日: 20年 9月 26日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
65	3	身体拘束をしないケアの 実践。	20年8月～2 0年11月末ま で	職員が利用者さんの 居場所を確認し、見失 わないよう心がけると 共に、声かけしあう。		
66	7	鍵をかけないケアの実 践。	20年8月～2 1年8月まで	内部研修で話し合い、 取り組み中。今後もつ めて話し合っていきた い。		